

港区まちづくりフォーラム参加記

今回は平成 24 年 12 月 22 日（土）に港区民センターで開催された「港区まちづくりフォーラム」に参加してきましたので、ご紹介します。

～みんなで考えよう市民による豊かなコミュニティづくり～ と題し、パネルディスカッション形式で議論と理解を深めていくという内容でした。パネリストには港区の地域役員の方々の他、鶴見区の地域活動協議会の会長を迎えられていて、先進的な地域活動協議会の形成事例を聞くことができる、非常に興味深いフォーラムでした。

各パネリストからは…

- 地域活動協議会はタテ・ヨコ、子どもで繋がり楽しくなければならない。
商店会も繋がることにより、全体像が誰も分らなかったのが、地域活動協議会で話し合う中でわかってくる。
女性が参加しやすい環境づくりが大事で、女性が参加することにより、地域活動協議会の活動も活性化する。
- 広報が重要で、何をやっているか、ポスティング（チラシ等の各戸配布）でも知らせる。
子ども向けの地域活動をすれば、保護者（大人）、また企業まで引き連れてくる。
地域活動協議会での最初行事として、運動会を開催したら大変な盛況であった。

等々の実例や意見が出されました。

既に地域活動協議会が形成されている各地域で共通しているのは、

- 学校で生徒にチラシを配布すると、持ち帰って保護者が見る、すると町会に加入されていないマンションにお住まいの方々の保護者も子どもと一緒にイベントに参加される。
- 地域の活動を住民に知ってもらい、ご協力をいただくためには広報は大事で、これからは IT を駆使した情報発信が必要。
- 活動団体のヨコの繋がりが出来ることにより、団体同士で関連した活動では協力しあうことができ、予算も効率的に運用できる。

これらが地域活動協議会の形成のメリットであるという印象が目立ちました。

今回のフォーラムを参考にして、天王寺区でも地域間の情報交換会等を開催し、各地域での地域活動協議会の形成・運営を支援していくとともに、また何よりも住民のみなさんの地域活動協議会へのご理解を深めていただけるよう努めてまいります。（ゆ）



基調講演する田端 港区長



パネルディスカッションの様子